



9月21日（火） A会場（国立京都国際会館 1階 メインホール）

8:30~9:30 教育講演 42

司会：渡辺 雅子 新宿神経クリニック

EL42 COVID19流行下における精神科病院連携について何をなすべきであったか

○斎藤 正彦
東京都立松沢病院精神科



9:30~10:30 特別講演 2

司会：岩田 仲生 藤田医科大学精神神経科学講座

SL2 iPS細胞技術を用いた精神・神経疾患の研究

○岡野 栄之
慶應義塾大学医学部・生理学教室



10:40~11:40 特別講演 3

司会：久住 一郎 北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室

SL3 がんの光免疫療法

○小林 久隆
米国国立がん研究所



11:40~12:40 教育講演 43

司会：内山 登紀夫 大正大学

EL43 成人の発達障害 —診断と対応の光と影—

○宮岡 等
北里大学



13:00~14:00 **特別講演 4**

司会：井上 幸紀 大阪市立大学大学院医学研究科神経精神医学

SL4

COVID-19のこれまで、そしてこれから

○尾身 茂

独立行政法人地域医療機能推進機構理事長



14:00~15:00 **教育講演 44**

司会：吉川 潔 外務省診療所

EL44

パリ症候群の今昔

○太田 博昭

パリ邦人医療相談室





9月21日 (火) B会場 (国立京都国際会館 1階 Room A)

8:30~10:30 シンポジウム 66
rTMSにおける臨床的視点

司会：池田 俊一郎 関西医科大学医学部精神神経科学講座
鬼頭 伸輔 東京慈恵会医科大学精神医学講座

S66-1 うつ病におけるネットワーク異常と反復経頭蓋磁気刺激療法 (rTMS) の適切な刺激部位の検討
○池田 俊一郎¹、吉村 匡史^{2,3}、嶽北 佳輝¹、北浦 祐一¹、青木 宣篤¹、桂 功士¹、南 翔太¹、佃 万里¹、清水 敏幸¹、木下 利彦¹
¹関西医科大学医学部精神神経科学講座、²関西医科大学リハビリテーション学部作業療法学科、³関西医科大学総合医療センター精神神経科

S66-2 うつ病への維持rTMS療法：再燃・再発を防げるか
○鬼頭 伸輔^{1,2}
¹国立精神・神経医療研究センター病院、²東京慈恵会医科大学精神医学講座

S66-3 rTMS療法の普及はわが国のうつ病医療をどのように変えるか？
○中村 元昭^{1,2}
¹昭和大学発達障害医療研究所、²神奈川県立精神医療センター

S66-4 大阪医科大学附属病院におけるrTMS療法の現状
○今津 伸一、西澤 由貴、木下 真也、川野 涼、金沢 徹文
大阪医科薬科大学病院

〈コーディネーター〉 池田 俊一郎 関西医科大学医学部精神神経科学講座
高橋 隼 和歌山県立医科大学神経精神医学教室

10:40~12:40 シンポジウム 67
電気けいれん療法の未来 ~これからを見つめて~

司会：嶽北 佳輝 関西医科大学医学部精神神経科学講座
諏訪 太朗 京都大学医学部附属病院

S67-1 ECTのメカニズム研究のこれから
○高宮 彰紘
慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

S67-2 電気けいれん療法の適応の未来
○川島 啓嗣
京都大学医学部附属病院精神科神経科

S67-3 ECTにおける適切な発作発現の成否を分ける要因についての研究と展望 —ECTの過去を清算する—
○青木 宣篤、嶽北 佳輝、木下 利彦
関西医科大学医学部精神神経科学講座

S67-4 ECTの技術的發展を展望する
○安田 和幸
山梨大学医学部精神神経医学教室

〈コーディネーター〉 嶽北 佳輝 関西医科大学医学部精神神経科学講座
諏訪 太朗 京都大学医学部附属病院

9月21日（火） C会場（国立京都国際会館 1階 Room B-1）

8:30～10:30

シンポジウム 68

コロナ禍で子どもたちの暮らしはどう変化したか ～子ども臨床の現場から～

司会：上野 千穂 京都市第二児童福祉センター
小野 善郎 和歌山県精神保健福祉センター

S68-1 コロナ禍で子ども達の暮らしはどう変化したか ～大学病院精神科から～

○宮脇 大
大阪市立大学大学院医学研究科神経精神医学

S68-2 コロナ禍における児童思春期精神科治療の変化 –入院治療を中心に–

○中西 大介
三重県立子ども心身発達医療センター

S68-3 コロナ禍が家族間の葛藤や暴力に与える影響

○森田 展彰
筑波大学

S68-4 子どもとICT（情報通信技術）-COVID-19の流行で何が変わったのか-

○吉川 徹
愛知県医療療育総合センター中央病院

〔指定発言〕

小野 善郎
和歌山県精神保健福祉センター

〈コーディネーター〉 上野 千穂 京都市第二児童福祉センター

10:40～12:40

シンポジウム 69

AIは精神科臨床に何をもたらすか？精神医学、工学、社会科学的側面からの考察

司会：岸本 泰士郎 慶應義塾大学医学部ヒルズ未来予防医療・ウェルネス共同研究講座
高橋 英彦 東京医科歯科大学

S69-1 AI技術を活用したうつ病症状の定量化

○岸本 泰士郎
慶應義塾大学医学部ヒルズ未来予防医療・ウェルネス共同研究講座

S69-2 人工知能を病態理解に活かす

○高橋 英彦
東京医科歯科大学

S69-3 自然言語処理技術の精神医学分野における応用の取り組み：現状と将来

○狩野 芳伸
静岡大学情報学部

S69-4 医療AIにおけるガバナンス

○江間 有沙
東京大学



〔指定発言〕

藤田 卓仙
慶應義塾大学医学部

〈コーディネーター〉 岸本 泰士郎 慶應義塾大学医学部ヒルズ未来予防医療・ウェルネス共同研究講座
高橋 英彦 東京医科歯科大学

13:00~15:00 シンポジウム 70
Hyperscanningと脳活動

司会：齊藤 卓弥 北海道大学大学病院
横澤 宏一 北海道大学保健科学研究院

S70-1 脳磁図を用いたコミュニケーション脳科学

○柳生 一白¹、渡辺 隼人²、高野 一義²、下條 暁司³、白石 秀明⁴、横澤 宏一²、齊藤 卓弥¹
¹北海道大学病院児童思春期精神医学研究部門、²北海道大学保健科学研究院、
³北海道大学大学院医学研究院小児科学分野、⁴北海道大学病院小児科

S70-2 Hyperscanning研究から見た精神疾患、発達障害の社会認知機能障害のメカニズム

○豊巻 敦人¹、久住 一郎¹、齊藤 卓弥²
¹北海道大学大学院医学研究院精神医学教室、²北海道大学病院児童思春期精神医学研究部門

S70-3 MEG Hyperscanning neuroimaging により自閉スペクトラム症幼児の脳の特徴を捉える

○菊知 充^{1,2}、廣澤 徹²、長谷川 千秋²
¹金沢大学医学系精神行動科学、²金沢大学子どものこころの発達研究センター

S70-4 言語・非言語コミュニケーションにおける脳領域の因果的結合性ネットワーク

○小野 弓絵^{1,2}
¹明治大学、²イエール大学

〔指定発言〕

横澤 宏一
北海道大学保健科学研究院

〈コーディネーター〉 齊藤 卓弥 北海道大学大学病院

9月21日（火） D会場（国立京都国際会館 1階 Room B-2）

8:30~10:30 シンポジウム 71
精神療法と身体

司会：北西 憲二 森田療法研究所北西クリニック
 新村 秀人 東洋英和女学院大学人間科学部、慶應義塾大学医学部

S71-1 精神療法は本当に「精神に対する治療」なのか？

○田所 重紀
 札幌医科大学医学部神経精神医学講座

S71-2 フロイトの寝椅子による「自由連想法」創出にみる精神分析と身体

○加藤 隆弘
 九州大学大学院医学研究院精神病態医学

S71-3 ユング派精神療法における身体；意識と無意識の相互作用

○林 公輔
 学習院大学文学部心理学科

S71-4 森田療法における身体－身(み)、動き、感じ

○新村 秀人
 東洋英和女学院大学人間科学部、慶應義塾大学医学部

〈コーディネーター〉 新村 秀人 東洋英和女学院大学人間科学部、慶應義塾大学医学部
 北西 憲二 森田療法研究所北西クリニック

10:40~12:40 シンポジウム 72
周産期メンタルヘルスに関連する諸問題

司会：鈴木 健文 山梨大学医学部精神神経医学講座
 鈴木 利人 順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院メンタルクリニック

S72-1 周産期メンタルヘルスの現状とこれから

○竹内 崇
 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科精神行動医学分野

S72-2 周産期メンタルヘルスにおける薬物療法の課題

○根本 清貴
 筑波大学医学医療系精神医学

S72-3 妊産婦のうつ・不安に対する精神療法

○清野 仁美、松永 寿人
 兵庫医科大学精神科神経科学講座

S72-4 コロナ禍における産科医の視点でみる周産期メンタルヘルス対応

○牧野 真太郎
 順天堂大学医学部附属浦安病院



S72-5 周産期メンタルヘルスの実践における養育環境と養育能力のアセスメント

○山下 洋

九州大学病院子どものこころの診療部

〈コーディネーター〉 鈴木 健文 山梨大学医学部精神神経医学講座

鈴木 利人 順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院メンタルクリニック

13:00~15:00 シンポジウム 73

アタッチメントとトラウマの混在病理にどう介入するか？

司会：岡田 俊 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的・発達障害研究部
小平 雅基 恩賜財団母子愛育会総合母子保健センター愛育クリニック小児精神保健科

S73-1 乳幼児のアタッチメントとトラウマの評価と親子への支援

○青木 豊^{1,2}

¹目白大学、²あおきメンタルクリニック

S73-2 発達性トラウマ障害の背景と理解

○小平 雅基

恩賜財団母子愛育会総合母子保健センター愛育クリニック小児精神保健科

S73-3 TF-CBTの実践によるアタッチメントとトラウマの回復

○亀岡 智美

兵庫県こころのケアセンター

S73-4 逆境体験のある養育者をどう支えるか？

○加茂 登志子

若松町こころとひふのクリニック

〔指定発言〕

渡部 京太

広島市こども療育センター

〈コーディネーター〉 岡田 俊 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的・発達障害研究部

小平 雅基 恩賜財団母子愛育会総合母子保健センター愛育クリニック小児精神保健科

9月21日（火） E会場（国立京都国際会館 1階 Room C-1）

8:30～10:30 **委員会シンポジウム 21**（性同一性障害に関する委員会）
 老年期に入った性別違和・性別不合状態についての諸問題と対応

司会：及川 卓 及川心理臨床研究所
 松永 千秋 ちあきクリニック

CS21-1 高齢期・老年期における性別違和・性別不合状態

○及川 卓
 及川心理臨床研究所

CS21-2 ジェンダークリニックを初診した高齢者を手がかりに考える性別違和と加齢の問題

○松本 洋輔
 岡山大学病院ジェンダーセンター

CS21-3 社会福祉学における性別違和・性別不合等に関する国際方針と日本における展開

○加藤 慶
 東京通信大学人間福祉学部

CS21-4 日本の中高年の全般的なセクシュアリティの状況

○荒木 乳根子
 田園調布学園大学名誉教授

CS21-5 一般精神科クリニックおよび地域の当事者支援団体との関わりから見えてくる現状と課題

○平村 英寿
 九品寺心身クリニック

〈コーディネーター〉 及川 卓 及川心理臨床研究所
 松永 千秋 ちあきクリニック

10:40～12:40 **委員会シンポジウム 22**（医療倫理委員会）
 精神科医療における「感情労働」

司会：榎戸 芙佐子 医療法人社団和敬会谷野呉山病院
 新村 秀人 東洋英和女学院大学人間科学部、慶應義塾大学医学部

CS22-1 知的障害者支援における「感情労働」－調査から浮かび上がった知的障害者における支援の課題からの検討

○木下 大生
 武蔵野大学人間科学部

CS22-2 精神科医療と感情労働

○榎戸 芙佐子
 医療法人社団和敬会谷野呉山病院

CS22-3 日本社会精神医学会相模原事件特別委員会の問題意識と活動

○松本 俊彦
 国立精神・神経医療研究センター



CS22-4 環状島モデルから考える精神科医療と「感情労働」

○宮地 尚子

一橋大学大学院社会学研究科

〈コーディネーター〉 新村 秀人 東洋英和女学院大学人間科学部、慶應義塾大学医学部
榎戸 美佐子 医療法人社団和敬会谷野呉山病院

13:00~15:00 委員会シンポジウム 23 (精神医療・保健福祉システム委員会)
措置入院制度を見直す ―主に連携の視点から―

司会：浅見 隆康 群馬大学健康支援総合センター
太田 順一郎 岡山市こころの健康センター

CS23-1 措置入院制度における警察との連携

○藤井 千代

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

CS23-2 行政の措置入院業務に関する課題と職員の専門性について

○篠崎 安志

横浜市青葉区役所高齢・障害支援課

CS23-3 措置診察技術の確立と教育に関する研究

○椎名 明大

千葉大学社会精神保健教育研究センター

CS23-4 医療機関からみた措置入院における連携と課題

○山下 俊幸

京都府立洛南病院

CS23-5 入口における連携 ～2つの視点から

○根本 康

さいたま市立病院

〈コーディネーター〉 浅見 隆康 群馬大学健康支援総合センター
太田 順一郎 岡山市こころの健康センター

9月21日（火） F会場（国立京都国際会館 1階 Room C-2）

8:30～10:30

シンポジウム 74

サイコオンコロジーのトピックス がん関連認知機能障害、免疫チェックポイント阻害薬による精神症状など

司会：佐伯 吉規 がん研有明病院
 北浦 祐一 パナソニック健康保険組合松下記念病院精神神経科

S74-1 がん医療における認知機能障害 ～化学療法、ホルモン療法による影響を中心に～

○谷向 仁
 京都大学

S74-2 がん免疫療法に伴う精神症状とケア

○貞廣 良一
 国立がん研究センター中央病院精神腫瘍科

S74-3 がん終末期のせん妄に対するマネジメント

○井上 真一郎
 岡山大学病院精神科神経科

〈コーディネーター〉 佐伯 吉規 がん研有明病院
 北浦 祐一 パナソニック健康保険組合松下記念病院精神神経科

10:40～12:40

シンポジウム 75

After / with COVID-19における学校を取り巻く環境変化と精神保健の在り方

司会：水野 雅文 東京都立松沢病院、東邦大学医学部精神神経医学講座
 関崎 亮 学校法人桐丘学園、株式会社 Welcome to talk、東邦大学医学部精神神経医学講座

S75-1 新学習指導要領にみる心の健康・メンタルヘルスに関する教育の拡充

○小塩 靖崇
 国立精神・神経医療研究センター

S75-2 コロナ禍における若者に向けたメンタルヘルス相談 ―SODAの取り組み―

○根本 隆洋¹、内野 敬^{1,2}
¹東邦大学医学部精神神経医学講座、²ワンストップ相談センターSODA

S75-3 インターネットおよびチャットボットを用いたCBTの取り組み

○大野 裕
 大野研究所

S75-4 学校場面でのオンライン健康相談の可能性

○関崎 亮^{1,2,3}
¹学校法人桐丘学園、²株式会社 Welcome to talk、³東邦大学医学部精神神経医学講座

〈コーディネーター〉 関崎 亮 学校法人桐丘学園、株式会社 Welcome to talk、
 東邦大学医学部精神神経医学講座



13:00~15:00 **委員会シンポジウム 24 (ガイドライン検討委員会)**
より良い周産期メンタルヘルスを目指して:精神疾患を合併した妊産婦診療ガイドの活用

司会: 鈴木 利人 順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院

CS24-1 エジンバラ産後うつ病自己評価票 (EPDS) を用いた産後の自殺予防

○鈴木 利人
順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院

CS24-2 周産期うつ病の治療と対応

○中川 敦夫^{1,2}
¹慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室、²慶應義塾大学病院臨床研究推進センター

CS24-3 私たちが知っておくべき精神疾患合併症妊娠への考え方

○鈴木 俊治
日本医科大学

CS24-4 周産期メンタルヘルス体制:大分県における例

○佐藤 昌司¹、岩永 成晃²
¹大分県立病院、²大分県産婦人科医会

【指定発言】

下屋 浩一郎
川崎医科大学

〈コーディネーター〉 中川 敦夫 慶應義塾大学医学部
鈴木 利人 順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院

9月21日（火） G会場（国立京都国際会館 1階 Room D）

8:30~10:30 **シンポジウム 76**
ベナン・ブラジルの精神科医療

司会：吉川 潔 外務省
兼子 幸一 社会医療法人仁厚会医療福祉センター倉吉病院

S76-1 西アフリカ・ベナン共和国の精神医学事情

○Magloire Gansou
Centre National Hospitalier Universitaire de Psychiatrie (CNHUP)

S76-2 Brazil: the current situation of psychiatry and the impact of COVID-19 pandemics in the land of Carnival, Soccer and Bossa Nova

○Pedro Fukuti, ○Luca Goncalves
Department of Psychiatry, University of Sao Paulo

〔指定発言〕

川崎 弘詔
福岡大学医学部附属病院

岸本 年史
秋津鴻池病院

木下 利彦
関西医科大学医学部精神神経科学講座

〈コーディネーター〉 増田 将人 福岡大学医学部附属病院
吉田 常孝 外務省
西田 圭一郎 在フランス日本国大使館

10:40~12:40 **シンポジウム 77**
With新型コロナ時代の薬物療法の注意点

司会：古郡 規雄 獨協医科大学
橋本 亮太 国立精神・神経医療研究センター

S77-1 新型コロナ時代の大学病院精神神経科での取り組み

○中島 振一郎
慶應義塾医学部精神神経科

S77-2 臨床現場で用いられているコロナウイルス感染症治療薬の基本

○堀 輝
福岡大学医学部精神医学教室

S77-3 新型コロナの薬物治療中の患者に対する精神科薬物治療の留意点

○古郡 規雄
獨協医科大学

S77-4 COVID-19による緊急事態宣言時におけるクロザピン検査間隔における緊急対応

○橋本 亮太¹、内田 裕之²、水野 裕也²、古郡 規雄³
¹国立精神・神経医療研究センター、²慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室、³獨協医科大学

〈コーディネーター〉 古郡 規雄 獨協医科大学
橋本 亮太 国立精神・神経医療研究センター



13:00~15:00 **シンポジウム 78**
コロナ禍における訪日・在留外国人と海外在留邦人の精神医療

司会：吉田 常孝 外務省
阿部 裕 四谷ゆいクリニック

S78-1 訪日・在留外国人と海外在留邦人の動向

○吉田 常孝
外務省

S78-2 コロナ後の新たな社会と多文化共生社会

○阿部 裕
四谷ゆいクリニック

S78-3 コロナ禍における在日外国人の精神衛生に関わる要因について

○松永 優子
めじろそらクリニック

S78-4 パンデミック中のNYにおける邦人メンタルヘルス支援

○斎藤 恵真
ザッカーヒルサイド病院

S78-5 モントリオール（カナダ）におけるコロナ禍第1波での在留邦人へのメンタルヘルス支援

○エモン 睦子¹、川口 敦^{1,2}、小西 千秋³、富田 紀男¹、佐藤 宏明³、傳法 清⁴
¹モントリオール大学、²東京女子医科大学、³マギル大学、⁴カナダ邦人医療支援ネットワーク

〈コーディネーター〉 吉田 常孝 外務省
阿部 裕 四谷ゆいクリニック
松永 優子 めじろそらクリニック

9月21日（火） H会場（国立京都国際会館 1階 Room E）

8:30～10:30 シンポジウム 79
メディアの中の精神医学

司会：深尾 憲二郎 帝塚山学院大学
 諏訪 太朗 京都大学医学部附属病院、京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座（精神医学）

S79-1 近代の新聞報道と精神医学

○佐藤 雅浩
 埼玉大学

S79-2 認知症に対する見方と映画

○上田 諭
 戸田中央総合病院メンタルヘルス科

S79-3 テレビの中の依存症～薬物問題の報道から～

○成瀬 暢也
 埼玉県立精神医療センター

S79-4 ゴールドウォーター・ルールと精神科医の道義的責任

○香山 リカ
 立教大学現代心理学部

〔指定発言〕

名越 康文
 相愛大学高野山大学

〈コーディネーター〉 諏訪 太朗 京都大学医学部附属病院、
 京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座（精神医学）
 深尾 憲二郎 帝塚山学院大学

10:40～12:40 シンポジウム 80
神経発達症のバイオマーカーをどのように臨床応用するか

司会：飯田 順三 医療法人南風会万葉クリニック子どものこころセンター絆
 太田 豊作 奈良県立医科大学医学部看護学科人間発達学

S80-1 成人期ASDのバイオマーカー

○小坂 浩隆
 福井大学医学部病態制御医学講座精神医学領域

S80-2 臨床からみた小児期自閉スペクトラム症のバイオマーカー

○辻井 農亜
 近畿大学医学部

S80-3 成人期発達障害におけるMismatch Negativityと脳画像解析について

○板垣 俊太郎¹、戸田 亘¹、松本 純弥^{1,2}、佐藤 彩¹、大西 隆³、伊藤 浩⁴、志賀 哲也¹、三浦 至¹、
 矢部 博興¹

¹福島県立医科大学神経精神医学講座、²国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、
³ヤンセンファーマ株式会社メディカルアフェアーズ本部、⁴福島県立医科大学放射線医学講座



S80-4

小児期ADHDの神経生理学的バイオマーカー

○山室 和彦

奈良県立医科大学精神医学講座

〈コーディネーター〉 太田 豊作
飯田 順三

奈良県立医科大学医学部看護学科人間発達学
医療法人南風会万葉クリニック子どものこころセンター絆

13:00~15:00

市民公開講座

芸術と精神医学を楽しむ

司会：木下 利彦 関西医科大学医学部精神神経科学講座

PF

音楽を楽しむ

○上野 千穂

京都市第二児童福祉センター診療所

三島由紀夫のナルシズム —— 小説『金閣寺』をめぐって

○内海 健

東京藝術大学保健管理センター

障害者施設でアートを仕事にする。仕事を通して広がる世界

○原田 啓之

PICFA 医療法人清明会障害福祉サ-ビス事業所

〈コーディネーター〉 上野 千穂 京都市第二児童福祉センター診療所

9月21日（火） I会場（国立京都国際会館 1階 さくら）

8:30～10:30 **委員会シンポジウム 25**（認知症委員会）
精神科医による認知症早期診断・治療の重要性 ～認知症診療医制度を基本として～

司会：武田 雅俊 大阪河崎リハビリテーション大学
森村 安史 一般財団法人仁明会仁明会病院

CS25-1 認知症の行動・心理症状に対する非薬物的治療

○数井 裕光
高知大学神経精神科学教室

CS25-2 発現機序を考慮したBPSD治療

○橋本 衛
大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室

CS25-3 診断後支援と権利ベースのアプローチ

○山崎 英樹
いずみの杜診療所

CS25-4 認知症疾患医療センターにおける精神科医の役割

○瀧野 勝弘
緑ヶ丘保養園

〈コーディネーター〉 数井 裕光 高知大学神経精神科学教室
武田 雅俊 大阪河崎リハビリテーション大学
森村 安史 一般財団法人仁明会仁明会病院

10:40～12:40 **委員会シンポジウム 26**（精神科医・精神科医療の実態把握・将来計画に関する委員会）
地域精神科医療計画をめぐる諸問題

司会：辻本 哲士 滋賀県立精神保健福祉センター
稲垣 中 青山学院大学教育人間科学部

CS26-1 ReMHRADと地域精神科医療計画

○吉田 光爾
東洋大学ライフデザイン学部

CS26-2 精神疾患領域の医療計画：特に地域包括医療システムと他の4疾病5事業・在宅医療との連携構築に焦点をあてて

○来住 由樹
地方独立行政法人岡山県精神科医療センター

CS26-3 児童思春期精神科医療における地域精神科医療計画をめぐる諸問題

○齊藤 卓弥
北海道大学大学病院

CS26-4 日常の精神医療・地域保健福祉業務で活用できる身近な統計情報・データ分析

○辻本 哲士
滋賀県立精神保健福祉センター



CS26-5 地域における身体合併症医療の問題

○根本 康

さいたま市立病院

〈コーディネーター〉 稲垣 中 青山学院大学教育人間科学部
辻本 哲士 滋賀県立精神保健福祉センター

13:00~15:00 委員会シンポジウム 27 (災害支援委員会)
精神科医療機関のパンデミック対策の向上に向けて

司会：富田 博秋 東北大学
上野 修一 愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学講座

CS27-1 民間精神科病院におけるクラスター対策の経験

○牧 徳彦

医療法人鸞友会牧病院

CS27-2 首都圏の精神科 COVID-19対応精神科病床の運営を通して得られた教訓

○斎藤 正彦

東京都立松沢病院精神科

CS27-3 公的単科精神科病院に求められたこと

○田中 究、曾我 洋二、土屋 博紀、土居 正典、二宮 典久

兵庫県立ひょうごこころの医療センター

CS27-4 COVID-19のクラスターが発生した精神科病院における感染制御状況の検討

○松田 宏樹、河畠 譲、赤星 昂己、矢嶋 祐一、若井 聡智、近藤 久禎、小井土 雄一

国立病院機構本部DMAT事務局

CS27-5 北総育成園での新型コロナウイルス感染症発生の際の対応状況について

○原見 律子¹、河内 勝²

¹千葉県健康福祉部障害福祉事業課、²千葉県健康福祉部障害者福祉推進課

〈コーディネーター〉 富田 博秋 東北大学
上野 修一 愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学講座

9月21日（火） J会場（国立京都国際会館 1階 スワン）

8:30~10:30 **委員会シンポジウム 28** (PCN 編集委員会)
データ駆動型精神医学の時代

司会：神庭 重信 日本うつ病センター、医療法人栗山会飯田病院、九州大学名誉教授
加藤 忠史 順天堂大学大学院医学研究科精神・行動科学

CS28-1 Multi-dimensional phenotyping approach を通じたデータ駆動型精神医学

○西山 毅
名古屋市立大学大学院医学研究科

CS28-2 ゲノミクス駆動型精神医学

○西岡 将基
順天堂大学医学部精神医学講座

CS28-3 東北メディカルメガバンクコホートによる精神医学研究

○富田 博秋、松本 純弥、長谷川 尚美、三浦 健一郎
東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野

CS28-4 NDBを活用した臨床疫学研究：誰もが活用できる未来に向けて

○奥村 泰之
一般社団法人臨床疫学研究推進機構

CS28-5 データ駆動型解析による精神疾患のバイオタイプとは？

○橋本 亮太、松本 純弥、長谷川 尚美、三浦 健一郎
国立精神・神経医療研究センター

〈コーディネーター〉 加藤 忠史 順天堂大学大学院医学研究科精神・行動科学

10:40~12:40 **委員会シンポジウム 29** (災害支援委員会)
あらゆる脅威に対するメンタルヘルス対策：自然災害、人為災害からテロまで

司会：重村 淳 目白大学保健医療学部
高橋 晶 筑波大学医学医療系災害・地域精神医学、茨城県立こころの医療センター、
筑波メディカルセンター病院精神科

CS29-1 人為災害とメンタルヘルス問題

○前田 正治
福島県立医科大学医学部災害こころの医学講座

CS29-2 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）流行下におけるメンタルヘルス対策

○國井 泰人¹、白倉 瞳¹、瀬戸 萌²、富田 博秋^{1,3}
¹東北大学災害科学国際研究所災害精神医学分野、²東北大学病院精神科、
³東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野

CS29-3 東京オリンピック、大阪万博、マスギャザリング災害に向けた精神・心理関連職種の準備と対応について

○高橋 晶^{1,2,3}
¹筑波大学医学医療系災害・地域精神医学、²茨城県立こころの医療センター、³筑波メディカルセンター病院精神科

CS29-4 テロ現場での適切な非負傷者対応は救急医療の負担を軽減しメンタルヘルス対応を可能にする

○井上 潤一
山梨県立中央病院高度救命救急センター



〔指定発言〕

重村 淳

目白大学保健医療学部

〈コーディネーター〉 重村 淳
高橋 晶

目白大学保健医療学部

筑波大学医学医療系災害・地域精神医学、茨城県立こころの医療センター、
筑波メディカルセンター病院精神科

13:00~15:00 **委員会シンポジウム 30 (ICD-11 委員会)**
ICD-11を適切に使うための知識

司会：松本 ちひろ 日本精神神経学会
丸田 敏雅 聖徳大学

CS30-1 **ICD-11における神経発達症群の診断について**

○森野 百合子

成増厚生病院なります子どもの心ケアセンター準備室

CS30-2 **物質使用および嗜癖行動による症群**

○樋口 進

独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター

CS30-3 **ICD-11における強迫症または関連症群**

○中尾 智博

九州大学大学院医学研究院精神病態医学

CS30-4 **パーソナリティ症**

○林 直樹

医療法人社団三恵会西ヶ原病院

〈コーディネーター〉 丸田 敏雅 聖徳大学
神庭 重信 日本うつ病センター、医療法人栗山会飯田病院、九州大学名誉教授
松本 ちひろ 日本精神神経学会

9月21日（火） K会場（国立京都国際会館 1階 アネックス1）

8:30~10:30

シンポジウム 81

日本医師会認定産業医制度産業医学研修会対象セッション

我々にこそ環境調整！—自分たちで考える働き方改革—

司会：田中 増郎 公益財団法人慈圭会慈圭病院
 射場 亜希子 兵庫県立姫路循環器病センター

S81-1

建築を通じた治療文化の組織変革

○井上 秀之
 医療法人むつみホスピタル

S81-2

患者も職員も！対人緊張の少ない、ユルい依存症治療環境を目指して

○佐久間 寛之¹、村山 裕子¹、山元 直道¹、福田 貴博²、村上 優¹
¹独立行政法人国立病院機構さいがた医療センター、²独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター

S81-3

研修医時代に適応障害となった経験を、セルフケアの観点から振り返る

○直江 亮
 市立稚内病院

S81-4

内科医の視点から考える精神科医の生きづらさ

○清水 勇雄
 特定医療法人恵風会高岡病院

S81-5

治療や家族支援から生まれたセルフケアツール、「ハートランドごほうび大全集」

○長 徹二、松村 麻衣子、江上 剛史、門間 太作、徳山 明広
 一般財団法人信貴山病院ハートランドしぎさん

〔指定発言〕

山西 恭輔
 兵庫医科大学精神科神経科学講座

井原 祐子
 レジリエンス・トレーニング・オフィス

〈コーディネーター〉 長 徹二 一般財団法人信貴山病院ハートランドしぎさん
 堀之内 徹 市立稚内病院
 入来 晃久 地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪府立精神医療センター

10:50~11:50

教育講演 45

司会：池田 匡志 藤田医科大学医学部精神神経科学

EL45

遺伝統計学によるゲノム個別化医療の社会実装

○岡田 随象
 大阪大学大学院医学系研究科





9月21日（火） L会場（国立京都国際会館 1階 アネックス2）

8:30~9:30 教育講演（古典シリーズ）9

司会：松本 卓也 京都大学大学院人間・環境学研究科精神病理学精神分析学研究室

CEL9 ジャック・ラカン：ラカンと今日の精神科臨床

○鈴木 國文
生生会松蔭病院



9:30~10:30 教育講演（古典シリーズ）10

司会：鹿島 晴雄 慶應義塾大学医学部、木野崎病院

CEL10 エルンスト・クレッチマー：多次元診断と治療

○久江 洋企
桜ヶ丘記念病院



10:40~11:40 教育講演（古典シリーズ）11

司会：白川 治 医療法人尚生会湊川病院、神戸大学

CEL11 オイゲン・ブロイラー：スキゾフレニア概念の創始者

○人見 一彦
近畿大学名誉教授



9月21日（火） M会場（国立京都国際会館 2階 Room I）

8:30~10:30

シンポジウム 82

精神科病院におけるCOVID-19患者の入院治療の経緯と課題

司会：針間 博彦 東京都立松沢病院
飛鳥井 望 特定医療法人社団青山会青木病院

S82-1 松沢病院のCOVID-19診療体制

○福田 陽明、正木 秀和
東京都立松沢病院

S82-2 松沢病院感染症病棟に入院したCOVID-19患者の精神科症例提示と課題

○松本 光輔、正木 秀和
東京都立松沢病院

S82-3 精神疾患を合併するCOVID-19の身体的診療とその課題

○阪下 健太郎
東京都立松沢病院内科

S82-4 松沢病院に入院したCOVID-19患者のケースワーク実践と課題

○木村 亜希子
東京都立松沢病院社会復帰支援室

S82-5 民間精神科病院におけるCOVID-19対応精神科病床での活動報告

○飛鳥井 望、青木 誠
特定医療法人社団青山会青木病院

〈コーディネーター〉 福田 陽明 東京都立松沢病院
松本 光輔 東京都立松沢病院

10:40~12:40

シンポジウム 83

東洋思想と精神療法—精神分析、森田療法、ユング心理学から内観を考察する—

司会：山田 了士 岡山大学大学院精神神経病態学
小澤 寛樹 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科医療科学専攻展開医療科学講座精神神経科学教室

S83-1 ユング心理学からみた内観—構造・当事者性・布置—

○鈴木 康広
佛教大学教育学部臨床心理学科

S83-2 近代日本の精神療法と思想的底流

○中村 敬
東京慈恵会医科大学附属第三病院精神神経科

S83-3 精神分析と内観療法の比較

○長山 恵一
法政大学現代福祉学部臨床心理学科

S83-4 東西精神療法の統合としての内観療法

○堀井 茂男
慈圭病院



〔指定発言〕

真栄城 輝明
大和内観研修所

〈コーディネーター〉 山田 了士 岡山大学大学院精神神経病態学
小澤 寛樹 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科
医療科学専攻展開医療科学講座精神神経科学教室
塚崎 稔 医療法人清潮会三和中央病院

13:00~15:00 シンポジウム 84
認知症介護ロボットの最前線

司会：小田原 俊成 横浜市立大学保健管理センター
都甲 崇 医療法人みのり会いなほクリニック

S84-1 人型コミュニケーションロボット パルコを用いた介護プログラムの実践とその効果

○岸田 郁子^{1,2}

¹医療法人社団清心会藤沢病院、²横浜市立大学医学部精神医学

S84-2 アザラシ型ロボット「パロ」を用いたロボット・セラピーの国内外の現状、メタルアナリシスの結果と展望

○柴田 崇徳^{1,2,3}

¹産業技術総合研究所、²東京工業大学、³マサチューセッツ工科大学高齢化研究所

S84-3 認知症のリハビリテーションとロボットの適用

○近藤 和泉

国立長寿医療研究センター

〔指定発言〕

松井 敏史
医療法人社団大和会大内病院東京都認知症疾患医療センター

〈コーディネーター〉 岸田 郁子 医療法人社団清心会藤沢病院、横浜市立大学医学部精神医学

9月21日（火） N会場（国立京都国際会館 2階 Room J）

8:30~10:30

シンポジウム 85

ウェアラブルデバイスとクラウドを活用した睡眠医療と精神医学の接合と展開

司会：三島 和夫 秋田大学大学院医学系研究科精神科学講座
 栗山 健一 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所睡眠・覚醒障害研究部

S85-1 ウェアラブルデバイスを用いた睡眠医療の展望・期待される成果

○栗山 健一
 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所睡眠・覚醒障害研究部

S85-2 精神科診療における新規睡眠評価系を用いることの臨床的意義

○岩本 邦弘¹、宮田 聖子²、尾崎 紀夫¹
¹名古屋大学大学院医学系研究科発達老年精神医学分野、²名古屋大学大学院医学系研究科精神医療学寄附講座

S85-3 精神疾患患者における睡眠・行動・リズムデータのマイニングと臨床への還元

○竹島 正浩
 秋田大学

S85-4 情報技術を用いた精神医療への貢献

○上野 太郎
 サスメド株式会社

〈コーディネーター〉 三島 和夫 秋田大学大学院医学系研究科精神科学講座
 栗山 健一 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所睡眠・覚醒障害研究部

10:40~12:40

シンポジウム 86

（日本精神神経科診療所協会推薦）共に働きやすい職場をめざして 一日精診女性医師から見たハラスメント問題ー

司会：渡辺 雅子 新宿神経クリニック

S86-1 福岡県精神神経科診療所協会員のハラスメント経験に関するアンケート調査から見てきたもの

○田中 理香
 スタジオリカクリニック

S86-2 「女性のためのメンタルクリニック」で考えたハラスメント

○早苗 麻子
 萌クリニック

S86-3 ハラスメント被害者の実情と求められる対応について

○松浦 恭子
 弁護士法人女性協同法律事務所

S86-4 ハラスメント経験と治療力

○佐藤 真弓
 医療法人ひまわり佐藤まゆみメンタルクリニック



S86-5 **ハラスメント加害者とならないために**

○三原 伊保子

医療法人りぼん・りぼん三原デイケア+クリニックりぼん・りぼん

〈コーディネーター〉 三原 伊保子 医療法人りぼん・りぼん三原デイケア+クリニックりぼん・りぼん

佐藤 真弓 医療法人ひまわり佐藤まゆみメンタルクリニック

早苗 麻子 萌クリニック

13:00~15:00 **シンポジウム 87**
臨床家でもできる研究支援ツールの使い方

司会：古郡 規雄 獨協医科大学
吉村 玲児 産業医科大学医学部精神医学教室

S87-1 **効果的なWeb会議システムの使い方-Zoomで交流しよう-**

○飯田 仁志、衛藤 暢明、川崎 弘詔

福岡大学医学部精神医学教室

S87-2 **EndNoteの基本的な使い方と臨床・研究への活用法**

○富田 哲

弘前大学医学部附属病院神経科精神科

S87-3 **PubMedを用いた文献検索のコツ**

○竹内 啓善

慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

S87-4 **なぜ「R」を使うのか-統計ソフトRのすすめ-**

○橋本 直樹

北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室

〈コーディネーター〉 古郡 規雄 獨協医科大学

9月21日（火） O会場（国立京都国際会館 2階 Room K）

8:30~10:30

シンポジウム 88

計算論的精神医学の果たすべき役割と展望：数理・データ科学によるこころと脳の架橋に向けて

司会：前田 貴記 慶應義塾大学医学部精神神経科
 山下 祐一 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第七部

S88-1 データ駆動型アプローチによる精神疾患のバイオマーカーや新規介入法の開発

○高橋 英彦
 東京医科歯科大学

S88-2 異常サリエンス仮説の拡張と計算論的アプローチ

○宮田 淳
 京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座精神医学教室

S88-3 計算論的精神医学による疾病概念の創出：データ駆動・理論駆動の統合的アプローチ

○山下 祐一
 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第七部

S88-4 精神療法の作用メカニズムに対する計算論的アプローチ

○国里 愛彦
 専修大学人間科学部心理学科

〔指定発言〕

村井 俊哉
 京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座精神医学教室

〈コーディネーター〉 山下 祐一 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター神経研究所
 疾病研究第七部
 前田 貴記 慶應義塾大学医学部精神神経科

10:40~12:40

シンポジウム 89

精神医学と漢方医学のクロストーク ～古典から繙く知恵、現代における漢方の役割、未来に向けた課題と展望～

司会：神庭 重信 日本うつ病センター、医療法人栗山会飯田病院、九州大学名誉教授
 堀口 淳 島根大学

S89-1 古典から学ぶ漢方精神医学～中神琴溪を知っていますか？

○久永 明人^{1,2}
¹医療法人清風会ホスピタル坂東、²一般社団法人日本東洋医学会

S89-2 精神科臨床における漢方医学的アプローチの有用性

○井口 博登
 神経科浜松病院

S89-3 精神科漢方EBM up date～抑肝散のエビデンスの方法論を中心に

○水上 勝義
 筑波大学大学院人間総合科学学術院



S89-4 精神医学における漢方医学～その展望と課題

○山田 和男^{1,2}

¹東北医科薬科大学病院、²日本東洋医学会

〈コーディネーター〉 山田 和男 東北医科薬科大学病院、日本東洋医学会
久永 明人 医療法人清風会ホスピタル坂東、一般社団法人日本東洋医学会

13:00～15:00 シンポジウム 90
スポーツからみた精神医学のこれまでとこれから

司会：西多 昌規 早稲田大学スポーツ科学学術院、早稲田大学睡眠研究所
高橋 英彦 東京医科歯科大学

S90-1 睡眠とスポーツ、精神医学の交差点と方向性

○西多 昌規^{1,2}

¹早稲田大学スポーツ科学学術院、²早稲田大学睡眠研究所

S90-2 総合病院におけるスポーツ臨床と精神科医の役割

○山口 達也^{1,2}、佐藤 和毅¹、三村 將²

¹慶應義塾大学医学部スポーツ医学総合センター、²慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

S90-3 産業精神保健現場におけるスポーツ・運動の有効性

○堀 輝

福岡大学医学部精神医学教室

S90-4 神経発達障害の運動特性

○高木 俊輔

東京医科歯科大学精神科

S90-5 脳画像から見た統合失調症に対するスポーツの効果

○高橋 英彦

東京医科歯科大学

〔指定発言〕

内田 直

早稲田大学

山本 宏明

北里大学メディカルセンター

〈コーディネーター〉 西多 昌規 早稲田大学スポーツ科学学術院、早稲田大学睡眠研究所
堀 輝 福岡大学医学部精神医学教室
高木 俊輔 東京医科歯科大学精神科